

園長退任のご挨拶

令和3年3月吉日

小峰幼稚園園長 小峰嘉暁

河津桜は葉桜になりましたがソメイヨシノはまだ蕾です。令和2年度は新型コロナに世界中が振り回された一年でした。幼稚園も例外ではなく外出自粛、三密回避のかけ声の下に、運動会、発表会、コンサートと言った諸行事も園全体では行えず、各クラス毎、学年毎と言った小規模の開催となりました。子どもたちは勿論、保護者の皆様にも歯がゆい思いをお掛けした事をお詫び申し上げます。諸行事が小型化されたせいか、人と競い合うとか勝ち負けに拘ると言った従来の雰囲気とは少し異なり、行事を友達と楽しむ、創り上げていくと言ったより幼児教育にふさわしい保育になったと感じたのは園長の最良目でしょうか。

前置きが大変長くなり恐縮です。私事ですが令和2年度をもって小峰幼稚園園長を退任させて頂く事になりました。自分の中では区切りよく80歳での退任を考えておりましたが、体調不良のこのタイミングを人生の区切りにしたいと思います。

思い起こせば、昭和46年4月から小倉での人生が始まりました。当時、幼稚園は木造平屋建て（一部2階）園児数300名余り、職員10名余の所帯でした。情操教育の一環として器楽合奏に力を入れ、有志の園を募り合奏連盟を結成、普門館大ホール、文教公会堂などの大会場で演奏会を行いました。3歳児の増加に伴い職員数も30名程になり、園舎も鉄筋の2階建てとなり55年3月に創立20周年の式典を行いました。昭和63年9月先代小峰正夫園長の逝去に伴い理事長及び園長に就任、今日を迎えます。

一方、幼稚園の職務の傍ら幼稚園協会、小倉小学校PTA、小倉町内会、小倉神社のお手伝い等をさせて頂き40年間、それぞれの団体の中で貴重な体験と経験の中で辛かったこと、自分の力及ばず悲しい思いをしたりと学ぶこともそれぞれありましたが沢山の良き先輩、後輩、友人達に恵まれ楽しい思い出も数限りなく出来ました。

お世話になりました皆様方には数々の楽しい思い出を頂き厚くお礼申し上げます。

尚、次期園長として4月より松本春恵が就任いたします。先代同様お引き立て頂きますようお願い申し上げます。

末筆となりましたが皆様方のご多幸、ご健勝を心中より祈念し退任のご挨拶とさせて頂きます。